■ (公社)兵庫県建築士会　加古川支部 ■

支部だより

平成 28 年 4 月
第 67 号

さくら、桜、櫻・・・このごろサクラの花が気にかかります。夜明けが少し早くなり、朝の散歩が苦にならなくなった頃、さくらの便りが聞こえてきます。天気予報の日本地図にもさくら前線が描かれ、各地の開花予想がニュースを賑わしだしたら、もうすぐ春が来る。幾つになっても、何かを期待してしまいます。小さな公園にも、ご近所の庭にも、あちこちの水辺や土手にも、華やかなピンク、この季節、身の回りにサクラの樹がこんなにたくさんあったのかと気づかされます。

努力が報われた人、再チャレンジを心に誓った人、いずれの人にも春は新しい一歩の季節です。加古川支部も、このたびご案内します総会から春が始ります。会員の皆さん今年の支部のサクラ（活動）を観に来てください。大樹ではありませんが可憐な花を咲かせています。

（副支部長　小西 敏文）

ボーリング大会開始前の様子

参加しよう!!
平成 28 年度
第 53 回 加古川支部通常総会

通常総会は、4 月 23 日(土)　に開催されます。

場　所：兵庫県東播磨生活創造センター
（東播磨県民局）会議室 A・B
079-421-1136
総　会：18:00 より（受付は 17:45～）

懇親会：19:00 頃より
プラザホテル相生の間（2 階）
（会費 4,000 円）

※　同封の出欠はがきを、4 月 15 日(金)までに必ず投函してください。

※　委任状は出欠にかかわらず返送して下さい。

建築士試験“監理員”募集

二級建築士試験（7 月 3 日）及び木造・一級建築士試験（7 月 24 日）が本年も実施されますが、試験の立会いは建築士会員がおこなっています。加古川支部にも毎年、数名の要請があるため、事前に参加希望者を把握したいと思います。なお、各監理員には 交通費等諸経費が支給されます。

※　連絡・申込書をご利用下さい。

新年会&新春ボーリング大会に参加して

先日の新年会並びにボーリング大会に参加させていただきました（新年会21名、ボーリング13名参加)。球技といえば最近はもっぱらゴルフだけなのですが、十数年ぶりにボーリングをさせていただきました。

第一ゲームは前半のフレームは９ピン倒し１ピン残しばかりでしたが、中盤から後半にかけてストライクが４連続とスペアが混じってトータル１７８点、第二ゲームは疲れて平凡な１１５点でしたが前半の貯金もあって、このボーイング大会に優勝してしまいました。ちょっと恥ずかしい感じですが、優勝はどんな競技においてもうれしいものですね。

その後、新年会となり皆様と現在の建築を取り巻く環境などをざっくばらんに話すことができ、有意義な時間を過ごすことができましたこと、みなさまに感謝したいと思います。

支部活動に参加しているのは、こういった懇親会のある時だけで申し訳ないのですが、時間が合えば研修等の活動にもどしどし参加していきたいと思います。現在、兵庫県建築士会は公益社団法人としての活動をしています。この組織の一員として恥ずかしくない建築士としての努めが私の使命だと思っています。そこで、あまり参加していない会員の方々にお願いです。私はいろいろな会や、会合など人が集まるところにヒントがある、常にアンテナを張った状態でいようと思っています。　この紙面からですが、建築士会に入っているだけではもったいないです。ぜひ活動に参加されて自身のためになると思いますから建築士会や支部活動にご協力ください。

（林　友宏）

ガラス研修会に参加して

平成28年２月18日木曜日尾上公民館にて、ガラス研修会が行われました。（17名参加）

17世紀仙台藩３代藩主伊達正宗の孫宅に採用されたのが初めだそうだ。その当時のガラスはおそらく平坦性が悪く気泡が混じったような物だったのだろうと思います。近年、建築業界における省エネ基準の義務化こそ暑さ寒さの原因となる『窓』の変革であるといわれ、自身で板硝子・透明複層ガラス・Low－E複層ガラス程度まで単純なことぐらいしか頭にありませんでしたが更にLow-Eトリプルをはじめ様々なLow-Eガラスを紹介いただきました。その他、インテリア・外装（ガラス瓦）・ショーウインド関係（ガラス一体型デジタルサイネージュ）等教えていただきました。

ただ単なる採光のための窓ガラスだけでなく様々な性能・用途・意匠を持ったガラスこれからのお客様への提案などに役立てていけると思います。

（斉藤　和幸）

新入会員の挨拶

はじめまして、TO+DESIGN OFFICE. 垣本智壮（カキモト トモソウ）です。

この度皆様のお仲間として建築士会に入会させていただきました。京都職業訓練短期大学校を卒業後、神戸の家具屋でオリジナル家具のデザイン設計､その後SHOP DESIGN事務所に勤務し、2011 年に地元加古川にて独立、現在の事務所を開設いたしました。

仕事を通して地元加古川が、楽しく生活しやすい町になる様がんばっていきます。ライフワークとして、福島県南相馬市での町の復興のお手伝いの活動をしています。皆様、今後共宜しくお願い申し上げます。

（垣本 智壮）

ええはなしやん　第 46 回

郷土の歴史に基づいたまちづくり

私は、平成 26 年に入会しました。仕事では、住宅建築を主に携わっております。所属する加古川青年会議所での活動がきっかけで、2 年前からまちづくり活動も行っています。古事記・日本書紀に登場する播磨稲日大郎姫が、加古川出身でヤマトタケルの生母とされていること、播磨国風土記に景行天皇とお后との恋物語が描かれているというものですが、そのことを知っている地域の人も少なくなっており、アンケート結果では９％に留まりました。

一昨年に講演会をしたことをきっかけに、今年ようやく 「一般社団法人　神話からつながるまちづくり」を設立しました。 会員も増えており、次代に郷土の歴史や日本という国柄について関心を持ってもらうとともに、日岡古墳群、鶴林寺をはじめ数々の史跡や歴史のある我々の街がより活性化できるような活動に発展していければと考えております。建築士会の活動にも貢献できればと存じます。

（前川　桂恵三）

お知らせ

かこがわ市民団体連絡協議会登録団体として名を連ねていましたが、この度、退会して、かこむ倶楽部おためし会員（登録団体名『兵庫県建築士会加古川支部』）として入会いたしました。
皆様もご利用下さい。

■ かこむ倶楽部って？

グループ活動を応援する登録制度です！
登録団体で交流できるイベント等に参加できるほか、印刷機や打ち合わせブースを無料でご利用いただけるなど、さまざまなサポートを受けることができます。

■ かこむ倶楽部に登録するとできること

参加する

①かこむ倶楽部勉強会
かこむ倶楽部の登録グループが、講師にチャレンジできる場です。お互いに色々なことを教え合い、学び合いましょう。

伝える

①専用 facebook グループ参加
かこむ倶楽部登録グループ専用の facebook グループに参加できます。他のグループの方との情報交換やイベント告知などにお使いください。

②広報紙発送時のチラシ同封
年間 4 回発行している「かこむ」の情報紙。その発送時に合わせて登録グループのみなさまのチラシも同封します。

③WEB ページ掲載
東播磨生活創造センター「かこむ」の WEB サイトにグループの詳細情報を掲載することができます。

④新聞社広報（1 回 500 円）
東播磨地域の新聞社・メディアにプレスリリースをお送りします。
※必ず掲載されるとは限りませんので、ご了承ください。

使用できるスペース

①グループロッカー　　道具や用紙等の収納
②ぼっくすぎゃらり～　作品展示や活動紹介
③メールボックス　　書類の投函や受け取り
④活動ブース　　メンバー同士の会合や作業
⑤保育ルーム　　イベント時の保育
⑥和室　　イベント時の控室など

利用できる事務機

①印刷機
②紙折り機
③裁断機
④製本機（正会員 1 冊 50 円）
⑤映像編集用パソコン

この連絡・参加申込書はFAXかE-メールで送付してください。(郵便も可)

参加申込書

記入欄が不足する場合は、複写してご使用下さい。

事業名	参加者 氏名（連絡先電話）		非会員 表記欄
試験“監理員”参加 一級建築士試験 (7 月 24 日)	氏名	電話	
試験“監理員”参加 二級建築士試験 (7 月 3 日)			

連絡票

住　　所 連 絡 先 E－ mail	※ 住所・連絡先等の変更は必ずお知らせ下さい。
事務局への 連絡事項	

＊ 個人情報保護法に基づき、各会員の資料として管理致します。

(公社)兵庫県建築士会加古川支部事務局
〒676-0002 高砂市末広町 4 番 1 号
株式会社貝塚工務店内
TEL 079-443-1230 FAX 079-443-7474

矢幡支部長連絡先
090-3656-9708

kaizuka-yahata@shore.ocn.ne.jp

■ (公社)兵庫県建築士会　加古川支部 ■

支部だより

平成28年7月
第68号

暑い夏を目前にして、皆様いかがお過ごしでしょうか。節約モードの事務所では、中途半端な冷房よりは外の風が涼しい事もあり、メモリ設定に迷うなどスッキリしないのには困ったものです。メディアから消えた、年金運用損失の問題やタックスヘイブン脱税疑惑などのニュースがネット上では分かりやすく語られていて、「なんだ、そうか！」と、スッキリはしましたが夏の暑さに勝てるとは思えません。今年も、事務仕事はノートブックと蚊取り線香を持ち出して日陰を探す事となりそうです。しかし、経済的な疲弊を考えていても面白くありません。ここは、我々元来の行動力とユーモアで乗り切りたいものです。

さて、今年の建築士会全国大会は九州大分です。日頃、仕事に追われ交流もままならないと言われる方でも、切っ掛けがあれば手を休めて頂けるのではと思います。大分からのお誘いに加え、支部からも後押しできる事をと理事会にて経済的支援を決定しましたので後にご案内致します。また、加古川支部間での交流も盛んにして頂きたいと納涼懇親会も企画しましたので出席のご一報をお願い致します。何事も解決には多くの意見が役に立つと思います。これからも支部活動にどんどん参加して、顔見知りを増やして頂きたく思います。どうか支部活動に引き続きのご協力を宜しくお願い致します。

（副支部長　吉備 考司）

二級建築士設計製図講習会の様子

平成28年度第53回支部通常総会の報告

4月23日(土) 18:00より東播磨生活創造センター（かこむ）において、標記総会を開催いたしました。本会成立規定数の確認がされ、出席26名、委任状提出者41名で合計67名となり、会員数121名の3分の1以上の出席で成立しております。

秋田克司副支部長（総務委員会委員長兼務）の進行により本年度は、永井英三さんに議長をお願いし、各部会からの報告と来年度の計画案が発表され、出席会員による審議が始まりました。吉備副支部長から議題①　平成27年度会員動静及び事業報告がなされ、青年部事業報告を島崎青年部会長から、引き続き会計の増田氏より議題②　平成27年度収支決算報告（50周年記念事業収支決算共）がなされました。成田会計監査、五十嵐会計監査による議題③　会計決算報告がなされ、予め両会計監査による監査を受け、承認の報告をいただきました。議題④　平成28年度事業計画審議　議題⑤　平成28年度収支予算審議の件については、矢幡支部長より発表がありました。各事項が審議され会員の皆様の承認をいただき無事総会を終了いたしました。

（長尾 淳一）

懇親会の報告

加古川プラザホテル「牡丹の間」にて支部通常総会後の懇親会が開催されました。まず、吉備副支部長のご挨拶から始まり、成田さんの乾杯の発声で今年の懇親会がスタート⇒『よし！飲むぞー！』とは言いませんでしたが、一気に場が和み始めたのは想像付くと思います(笑)。会員の皆様とおいしく食事し、そしてお酒が入ると自然と懇親が深まりますよね。毎年恒例の青年部によるビンゴゲームが始まると、更に盛り上がりを見せました。今年も沢山のおもしろ景品が並ぶ中、私はラジコンヘリコプターをゲットしましたが何故か手元に御座いません……。何処へいったのやら？青年部の阪口君いつも準備有難うございます。次回から『予算をあげていただけたら良いのになぁ～』と阪口君が言ってます？…。最後に島崎青年部会長から閉会の挨拶があり楽しい懇親会も閉会となりました。今年も加古川支部全会員で協力し、建築士会を盛り上げていきましょう。

（鵜鷹 聖二）

第 59 回建築士会全国大会（大分大会）への参加活動を支援します

開催地の大分を含む九州地方は、4 月の大地震により多くの尊い命が失われ、甚大な被害を受けられました。心よりお見舞い申し上げるとともに一日も早い復興復旧を祈念いたします。さて、全国大会は、各地の先進的な取組みや独創的な地域連携活動などを直接見聞し、全国の仲間と広く交流を深めることができる大変有益な機会です。また、開催地の歴史文化や風土に親しみ、まちづくりやひとづくりなどを改めてじっくり学ぶこともできます。

支部では、全国の会員との連携、交流を深めていただきたいと、第 59 回建築士会全国大会（大分大会）に参加される方を下記により支援します。

会員の皆様には、開催地域の復興応援も込めて、ひとりでも多くの参加をお願いいたします。

※　大会参加に係る旅費等について、旅行会社の九州ふっこう割引（九州観光支援交付金）を利用すると大幅な割引が受けられます。

記

1．全国大会（大分大会）

（1）開催日

平成 28 年 10 月 22 日(土)～23 日(日)

（2）会　場

別府国際コンベンションセンター他

（3）参加申込期限　平成 28 年 7 月 29 日(金)

※　大会本部への参加申込等、詳細については、会誌「建築士」平成 28 年 5 月号の掲載記事または建築士会 HP の「建築士会全国大会（大分大会）」のページをご参照ください。

2．対象者：加古川支部会員

3．支援内容

参加費用の一部、10,000 円を補助します。ただし、応募者が 5 名を超えた場合は、50,000 円を応募者数で除した金額（百円以下切捨て）を補助します。なお、応募者が加古川支部の他の事業から全国大会参加に関する補助を受ける場合は、10,000 円から当該補助額を差引いた金額とします。

4．支部参加補助金の申込み

平成 28 年 10 月 15 日(土)までに、別添の参加申込書により申し込みください。

※ お問合せ・連絡先

支部長 矢幡 稔　まで

“納涼懇親会”　のご案内

毎年恒例の『納涼懇親会』を 8 月 5 日(金)に執り行います。支部会員の交流と親睦を深める行事であります。皆様におかれましてはお忙しい事と存じますが、会員が寄合「ワイワイ」「ガヤガヤ」ジョッキ片手に暑さをふっ飛ばしましょう。奮ってご参加くださいますようにご案内します。

日時：　平成 28 年 8 月 5 日(金)
19:00～21:00（開始より 2 時間）
なるべく時間までにお越し下さい。

場所：　「ヤマトヤシキ」屋上ビアガーデン

参加費：　￥3000 円/会員
￥3800 円/非会員

※天気の都合上急遽会場変更する場合が有ります。

募集〆切：平成 28 年 7 月 29 日(金)までに、別紙申込書により申し込みお願いいたします。

※当日の連絡先：

厚生委員会　長尾 淳一　090-9216-2695

青年部情報　（青年部会）

今年も二級建築士設計製図試験講習会がスタートしました

今年も暑い夏が始まりました。二級建築士設計製図試験講習会。

募集人数８名のところ、定員いっぱいの８名の方に応募いただき受講していただいております。

７月９日、この原稿提出締切の数日前に第１回の講習を実施しました。とにかくみんな熱心で、初日にもかかわらず、どんどん図面を書いていきました。この調子で頑張っていただき、合格の折には、建築士会に入会していただきたいですね。

講師陣も負けてはいません。初日は５名の講師が出席し、みっちり指導いただきました。これからまだまだ続きますので、講師陣も頑張りましょう。

基本的には、土曜日と水曜日に実施していますので、お時間のある方は、一度覗きに来てください。初心忘るべからず。かつての自分を思い出すと思います。

さて、今年の課題は「景勝地に建つ土間スペースのある週末住宅(木造２階建て)」です。兵庫の景勝地といえば六甲山でしょうか。土間スペースのある週末住宅の設計経験のある方、また、こんな事例があるよという情報のある方、プランと写真など情報提供いただけると、受験生のモチベーションアップにつながると思いますので、よろしくお願いいたします。一人でも多くの方の合格、いやいや、受講生全員の合格めざして、今年も頑張っていきましょう。

(島﨑淳二)

新入会員の挨拶

初めまして、この度 加古川支部に入会しました、有限会社イーリンクの金尾 祥吾(かなお しょうご)と申します。播磨町にて事務所を構えて、主としては工務店として営業と現場管理をしております。建築士会でされている二級建築士講座にて取得することができまして講師の先生から、合格したら入会して欲しいと言われていたことが頭にあり、一度は申込書を取り寄せたもののそのままになっていました。この度、再度申し込み書類を取り寄せて、思い切って入会してみることにしました。まだ、法人化して 10 年程で経験も浅いので、少しでも何か知識や技術に役立つことがあるかと思っております。同時に、青年部会にも誘っていただきまして、運営委員の一員に参加しています。皆さん非常に仲がよく、初めてで戸惑っていた私に声をかけて親切にしてくださっています。先日は２級建築士の学科の試験監理員も経験しておいてはどうかと誘って下さったので行ってきました。まさか自分がそのような場所に立つことは想像もしていなかったので、新鮮な気分であり、試験を受けに来た方々の緊張感や責任を感じる貴重な経験となりました。

建築の仕事に携わる者として、仕事以外でもお役にたつことができるよい機会と思っています。これからどうぞよろしくお願い致します。

（金尾 祥吾）

ええはなしやん　　第 47 回

『東日本大震災から５年』

福島県南相馬市、この街は 2011.3.11 に地震と津波による被害の上に福島第一原子力発電所の事故による被害を受け、震災から５年が経過した今でも復興どころか復旧も出来ない状況の地域をかかえています。街の至る所には汚染残土の仮置き場が有り、その光景は決して復興が進んでいる街とはほど遠い様に見受けられます。岩手、山形あたりは随分と復興も進み街も活気を取り戻しつつありますが、南相馬市は今だ原発事故の影響もあり自宅に戻れない多くの方がおられます。農業が盛んなこの地域では原発事故による風評被害も問題になっています。帰還困難地域が解除され、自宅に戻る準備をされていた農家の方と知合いお話を聞くと、家に帰っても、除染作業や、片付け以前の問題として、猿や猪、ハクビシンや鼠などの野生動物に家を荒らされ、もはや人が住める状態ではないとの事です。

丁度３年前、たまたまこの街を訪れ、お世話になった農家民宿さんで色々とお話を伺い、阪神淡路大震災の経験を何か活かせないかと考え、２ヶ月に１度のペースで南相馬市に脚を運ぶ様になりました。始めに取り組んだのは、補助金や義援金に頼らない自立した復興を目指す事です。

農家のお母さん達に集って頂き地域の活性化の為のミーティングを重ね、物作りを通しての地域コミュニティーの再構築をテーマに活動を始めました。藍染め体験や藁細工等のワークショップを開催し、作った作品を商品として販売するプログラムを組み実施し、それを地域のブランドとして定着させる取組みは順調に進んでいます。

次のステップとして“体験”を観光資源として、外部から多くの方に来て頂き、人の噂や一遍を捉えただけのメディアの情報でなく、自分の目で今のこの街の現状を知って貰う事を目標とした活動に広がってきています。

今回の訪問は、各農家さんで持ち回りで行ってきたワークショップを、より幅広く行う為に空き農家を借りて活動の拠点とする為のお手伝いでした。築 100 年近い民家はもちろん図面など無いため、各機関に書類を提出するにも提出出来ないと相談があり図面を作成し、施設として活用しやすい PLAN を提案するミーティングを開催し、年内に OPEN を目指しています。

まだまだ先の長い活動となりますが、自分のライフワークとして取り組んでいきます。

（垣本 智壮）

いちこ（藁で編んだ揺りかご）の製作販売に関して、垣本氏が提案した篭のデザイン。

『ねこいちこ』

製作販売
農家民宿　森のふるさと（代表　森キヨ子）
Tel　0244-46-3613

この連絡・参加申込書はFAXかE-メールで送付してください。(郵便も可)

参加申込書

記入欄が不足する場合は、複写してご使用下さい。

事業名	参加者 氏名（連絡先電話）		非会員 表記欄
納涼懇親会	氏名	電話	
全国大会（大分大会） 参加補助金の申込み			

連絡票

住　　所 連　絡　先 E－ mail	※ 住所・連絡先等の変更は必ずお知らせ下さい。
事 務 局 へ の 連　絡　事　項	

＊ 個人情報保護法に基づき、各会員の資料として管理致します。

(公社)兵庫県建築士会加古川支部事務局
〒676-0002 高砂市末広町4番1号
株式会社貝塚工務店内
TEL 079-443-1230 FAX 079-443-7474

矢幡支部長連絡先
090-3656-9708

kaizuka-yahata@shore.ocn.ne.jp

■　(公社)兵庫県建築士会　加古川支部　■

支部だより

平成 28 年 10 月
第 69 号

秋冷の候、会員の皆様方に於かれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は加古川支部事業活動へ格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。秋晴れの晴天が続く季節となり、朝晩の冷え込みも深まる秋の移ろいを感じさせるのですが、ここ数日は夏日が続いて夏の余韻も残しています。体調管理が難しい季節ですが、くれぐれもご自愛のほど。

さて私たち建築士会加古川支部も平素の業務の中、研鑽や親睦の機会を企画し、理事会と委員会を重ね、会員の皆様に情報提供しています。講習会や研修会の案内、難しくお堅いだけではなく研修旅行やお酒を酌み交わし親睦を深める機会もあります。この秋にも研修旅行を企画しておりますので是非ともご参加ください。

さてお堅い話から少し外れて、私ごとですがこの夏休みの山行の報告をさせてください。9 月初旬、北アルプス奥穂から槍への縦走に臨みました。初日は早朝に上高地を発ち岳沢を経て前穂を詰めて奥穂を目指しましたが台風の影響をもろに受け強い風雨の中、小屋まで 11 時間を費やし、まさに死ぬ目に遭遇しました。北アルプスは険しく同行のベテラン登山者が足を挫くアクシデント。ベテランのアドバイスなしでは険峻なキレット越えは危険と判断、敢え無く涸沢まで下山となりました。下山したものの 2 日目以降は快晴に恵まれ何とも山を去りがたく単独ザイテングラートを登り返し、北穂高を目指しました。涸沢岳から北穂への岩稜も険しく気を抜けば死と隣り合わせでした。ここまでの話でしたら「何でそんなとこ行くねん？」とお思いでしょうが山の素晴らしさは、登らないと分かりません。この続きはまたお会いしたときにでも聞いてください。

終わりに寒暖の差が激しい折、健康にはくれぐれも気を付けていただき、また建築士会の研修会でお会いできるのを楽しみにしております。

（副支部長　秋田 克司）

『地元建築士の力作が見られます！』

近場の工学あふれる見学会のご案内！

（研修委員会）

文化薫る芸術の秋、皆様におかれましては何かとお忙しい日々をお過ごしのことと存じます。日頃は建築士会活動にご協力いただき誠に有難うございます。

さて、今回は会員の皆様が携わった建築物を対象の見学会を、準備いたしました。①神崎小学校・幼稚園は「第 15 回人間サイズのまちづくり賞」受賞作品で、②の佐用の平福は宿場町として栄えた街並の修復です。お昼には川座敷から清流を眺めツルッと健康そばでも如何でしょうか。皆さんと休憩しながらのディスカッションも楽しみです！お昼からは、山崎町の旧家・２百年以上のお酒屋さん見学です。続いては文学者の生家を見学しもち麦の館で休憩。多彩な技術・試行錯誤された苦労話などを質問してみましょう。

また、この機会を新たなご縁の場とし、ご都合を付けていただき、ご参加ください。内容は下記の通りです。

記

日時；平成 28 年 11 月 6 日(日)
見学場所；①神崎小学校・幼稚園
②佐用町の宿場町平福「瓜生原」
③山崎町のカジマ屋
④山崎町の老松酒造
⑤福崎町の柳田國男生家
⑥もち麦の館
募集人員；20 名（定員になりしだい閉め切り）
一般者も大歓迎
参加費；会員 2,500 円 非会員 3,000 円
（お昼の美味しい瓜生原御膳・
交通費・入場料共で、ご用意しております）
集合　；加古川駅北ﾛｰﾀﾘｰバス停近くに
7 時 50 分集合（8 時出発）
交通機関；レンタカーにて
専任ドライバー付き
解　散；加古川駅に 17 時　到着予定

締め切り；10 月 28 日まで
別添の参加申込書によりご連絡ください。

青年部情報 （青年部会）

納涼懇親会

8月5日に加古川ヤマトヤシキの屋上のビアガーデンにて行われた納涼懇親会に参加してきました。天候の心配もしましたが、雨も降らず暑すぎない快適な気候でよかったです。金曜日の19:00スタートなので、けっこう混雑していましたが、席には座ることができ、バイキング形式の食事をいただきました。

親会の厚生委員会が企画されたイベントなので普段お会いする青年部の方々だけでなく、あまりお会いする機会のない親会の方々とも挨拶を交わすことができ、2時間という短い時間でしたが楽しくとても有意義な時間を過ごせました。

青年層の方やまだイベントなどに参加されたことない親会の方も一度イベントに参加されてはいかがでしょうか。運営をされている理事や運営委員の方々もお待ちしていると思います。私もこれまでは忘年会と楽市のみの参加でしたが、青年部も新メンバーの方も増えていたので、影が消えないようイベント等も出来る限り参加しお手伝いたいと思いますのでよろしくお願いします。

（太秦 篤史）

二級建築士設計製図試験講習会

この夏、今年も二級建築士設計製図の講習会を開催させていただいた。青年部主催であるが支部の公益事業でもある。一般の方々を対象とした事業なので建築士会の活動をアピールする事にもなるので否応なく力が入る。

本年度は支部長、副支部長にも講習・模試会場にきていただき熱い激励を頂戴したのでますます力が入った。毎年の事だけど、講習前～講習期間中、考えそして意識していることがある。それは限られた授業時間の中で、どれだけ多くの成果を持って帰ってもらう事が出来るのか。講師陣も年々充実してきている。士会員(講師)それぞれの役割があり、正に適材適所といえる。本講義以外では補習も実施している。その補習授業では受講生毎に合わせたきめ細やかな指導を行っている。そして講師各々伝え方は違えど思いは同じ。「全員合格！」いろんな経歴、職歴を持った受講生達。今年は試験前日まで通ってくる生徒がいた。そこまで(前日まで通わないと不安)させてしまい申し訳ないという気持ちになった。指導方法の見直しも必要なのか否か、自問自答を繰り返した。全体を見ていたつもりやったけど、まだまだ心配りが足りなかったようである。

本試験終了後、生徒達から連絡の電話が鳴り続けた。余裕で書けた生徒、緊張で普段の力を出し損ねてしてしまった生徒etc。報告を聞く度に「おぉ～！よっしゃよっしゃ！」とか「はぁ……っ……しゃあないやん」とか心の中で呟いていた。そんな報告の中で嬉しかったことがある。その生徒は途中から欠席が続いていた。どんな事情があったのか解らないけど、指導が充分に出来なかった生徒になる。その生徒が試験終了後電話でこう云った。「試験(エスキス)の出来はイマイチだったけど、初めて図面を書くことが楽しいと思いました。ありがとうございました。」その一言で胸がすっとした。

ありがとうございました・・・で終わるのが普通ですが、続きがあります。毎年大勢の方との出会いに恵まれ、この講習を開催させていただいております。そして今年度、参加してくれた受講生達を交えてテキストを作成する予定です。そのテキストは、“受講生自身が分からなかったことを理解する為に、どんな工夫をして乗り越えたのか”そのノウハウを反映させたいと思っています。出来上がりが楽しみです。

最後に今年も暑い夏を過ごすことが出来ました。ありがとうございました。来年は“東の方”に行きますわ！（松本 有司）

加古川楽市出展

本年度も加古川商工会議所主催の「加古川楽市」に青年部で出展しました。

今回は 9 月の 17 日 18 日で、すこし遅い時期での開催となっておりました。とにかく、雨の影響が心配された今回の楽市。結果としては 2 日目が雨になってしまい、若干残念な開催となってしまいました。しかし、天候は仕方がありません。頑張りました。恒例の金魚すくいとヨーヨー釣りを実施。楽しい笑顔を見せていただきました。子供たちは雨でも関係ありませんね。保護者の方々には待ってもらっている時間がありますので、普段の活動をパネルにしたものをテントに展示し、私たちの活動も知っていただけるよう努めました。

ありがたかったことは、これまでの活動に参加してくれた方々が、運営のスタッフとして参加してくれたり、テントブースを訪問していただいたりしたことでした。懐かしかったり、近況の報告をしていただいたり、楽しい時間を過ごせました。売り上げについては、1 日目は天候もよく上々でしたが、2 日目はちょっと残念な結果となってしまいましたが、その割にはうまくいったかなと思います。

最後に、訪問いただきました支部会員の皆さま、とっても嬉しかったです。ありがとうございました。　（島﨑 淳二）

「こどものまち」で建築士の仕事体験を！

10 月 9 日(日)、10 日（体育の日）に東播磨生活創造センター『かこむ』において、ＮＰＯ法人高砂キッズ・スペース“こどものまち実行委員会“-主催、東播磨地域ビジョン委員会（今期、私が委員長をしています）“夢のたね“-共催で「こどものまち」が開催されました。

「こどものまち」は、ドイツはミュンヘンに起源を持つ「こどもがつくるまち」を日本風に応用して作られています。子供達の自主性をはぐくむ側面、職業体験、町の機能や仕組みの体験や理解、金銭感覚のシミュレーション、遊び場としての要素、異年齢集団の居場所としての要素などが含まれています。地域理解のためのアイテム、地域との交流を図る上でのアイテムという他にない要素を加えた上でこの「こどものまち」という事業が取り組まれています。

「地域は、子供達の成長に欠かすことのできない重要な要素である。地元企業や個人商店、行政、地域の団体など“地域”に含まれる要素と子供。何もしないと結びつかないものを結び付けてくれるアイテムとしてイベントを捕らえ、地域のさまざまな人の助けをいただきながら、楽しみの中で何かをやったという充実感と感動を、そして支えてくれている人たちの顔を少しでも子供達が覚えていてくれるような、地域の人たちが子供達の顔を覚えてもらえるような内容にし、そのような関係の中でこそ、地域コミュニティは生まれ、地元を愛し、自分の将来を信じ、自分自身に自信が持てる『地に足の着いたこども』が育まれていく」という想いで実施されています。

“夢のたね“は、子どもたちに感動体験を通じて「夢の種」を蒔くことを目的に活動しています。その一つとして、職業体験があります。この度、9 日は大工の体験と建築士の体験、10 日は大工の体験と歯科衛生士の体験を子供たちにしてもらいました。

前回の加古川建築士会理事会の席で、「こどものまち」へ建築士会として子供たちに建築士の仕事の一端を体験させていただきたいとお願いしました。理事の方に「内容をもう少し詳しく説明し、参加者を募集したら良いのでは」というご意見をいただきました。「わかりました」と答えたものの、連絡のできないまま時が過ぎ、土壇場で吉備副支部長や青年部相談役松本様に依頼し、士会員の岩谷弘子さんや二級建築士設計製図講習会の生徒さん 2 名も一緒に参加していただきました。

建築士体験コーナーでは、子供部屋の簡易な 1/20 模型作りと鉛筆を使った似顔絵教室、私の担当する大工体験では、のこぎりと電動押し切り、金槌と釘打ち機の使い比べや、レーザー計測器などを使う体験をして貰いました。途中、矢幡支部長や長尾厚生委員長も応援に来てくださり、初日は子供達の体験コーナー参加が少ないかと心配していましたが、賑やかな一日となって良かったと思います。今回のこどものまちへの参加者は、一日目は約 100 名　、二日目は約 200 名の参加でした。

（広報副委員長-髙橋 賢吉）

この連絡・参加申込書はFAXかE-メールで送付してください。(郵便も可)

参加申込書

記入欄が不足する場合は、複写してご使用下さい。

事業名	参加者 氏名（連絡先電話）		非会員 表記欄
『地元建築士の力作が見られます！』	氏名	電話	

連絡票

住　　所 連　絡　先 E－ mail	※ 住所・連絡先等の変更は必ずお知らせ下さい。
事務局への 連絡事項	

＊ 個人情報保護法に基づき、各会員の資料として管理致します。

(公社)兵庫県建築士会加古川支部事務局
〒676-0002 高砂市末広町4番1号
株式会社貝塚工務店内
TEL 079-443-1230 FAX 079-443-7474

矢幡支部長連絡先
090-3656-9708

kaizuka-yahata@shore.ocn.ne.jp

■　(公社)兵庫県建築士会　加古川支部　■

支部だより

平成 29 年 1 月
第 70 号

新年あけましておめでとうございます。

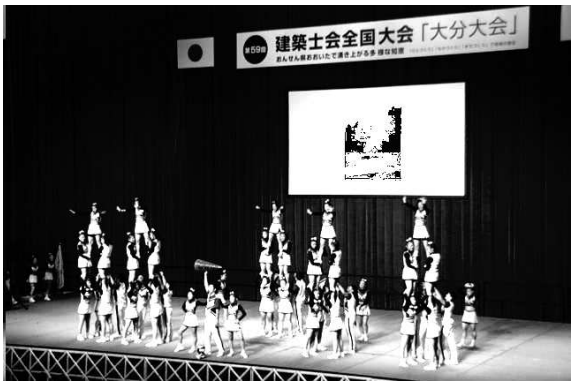
今年の干支は丁酉（ひのと・とり）です。酉は商売繁盛につながると考えられています。酉（トリ）は「取り込む」に繋がるといわれ、そこから、運気もお客もとり込めるというものです。商売をしてる人はより実りの多い１年、成果が得られる区切りのよい年、又、酉の由来に「果実が極限まで熟した状態」や物事が頂点まで詰まった状態が酉年だといわれています。会員の皆様において、

〝今年も実りのある年になりますように〟

当支部は、2 年前に 50 周年を迎え、次の 10 年へと歩んでいるところですが、過去の記念誌から 2 級建築士講座を初められたのが、昭和 51 年からとなっており今から 40 年前の事です。当時の青年部の諸先輩方が、始められ引き継がれた事業が、公益事業として現在は支部地域のみならず、他支部からも参加があり建築士を志す若者に対して、設計製図試験に合格できるように当支部会員が講習会を続けています。一人でも多くの建築士を目指している方々に、建築士試験合格の暁には、この士会を共に盛り上げてもらう活力となる人材の増加を夢見て、一生懸命頑張っています。会員の減少もあり、会員の増強に一番近い活動であり事業でもあります。皆様におかれましても、当士会の活動をご理解いただき、これからも研修会、見学会により多くの方々にご参加いただき、この一年皆様にご協力お願い致しまして、新年のあいさつといたします。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

（支部長　矢幡　稔）



建築士会全国大会（大分大会）式典

「新年会」のお知らせ

（厚生委員会）

日　時　：平成 29 年 1 月 28 日（土）
18：45 より　受付
19：00　　新年会　開宴
宴会余興　　ビンゴゲーム
豪華景品多数

会　場　：「笑笑」
加古川市篠原町 4-4 いろはビル 2 階
tel　079-427-4388
当日連絡先　　長尾淳一　090-9216-2695

参加費　：3,000 円
(非会員は実費となります)

締め切り：平成 29 年 1 月 23 日（月）までに
別紙参加申込書により申込みお願いします。

皆様のお越しをお待ちしております。奮ってご参加くださいます様、宜しくお願い申し上げます。

※　ニッケパークボウルが改装工事の為毎年恒例の新春ボーリング大会は中止とします。来年は、予定しますので優勝を目指して来年まで練習お願いします。

「研修会」開催のご案内

（研修委員会）

もし、今、大災害が発生したら！

みなさんのこころの準備は出来ていますか？

私達、建築士がこの問題に応えるべく、活動を開始しております。是非、皆さまも大震災が発生し、家屋の倒壊・大火災・大津波からみんなの生命・財産を守る方法を地域で考えてみませんか？

※　一般市民を対象にしていますが、大災害時の想定外の相談に向けご参加ください。今回、いざという時に備え私たちがやっておくべき事を確認して参りましょう。

日　時　：平成 29 年 2 月 22 日（水）
18：50 より　受付
19：00～20：30

会　場　：東播磨生活創造センター
「かこむ」2 階　会議室 A
兵庫県加古川総合庁舎内
内　容　：
・DVD 上映『阪神・淡路大震災から学ぶ～』
・大災害時の人の考え方・行動について
・想定外の災害について
・私たちは今のうちにやるべき事とは！
・フリーディスカッション

コメンテーター　：　島崎　淳二氏
建築に行政と各種分野で講演を開催し、多方面で活躍中。

建築士会全国大会（大分大会）の報告

「今年度の全国大会は大分県での開催です。私は近畿建築士会協議会青年部会へ出向しているため、原則参加です。そして、青年のプログラムは、全国大会の前日である金曜日から開催されるため、木曜日の闇夜に紛れて大分を目指します。車でのひとり旅なのでおそらく安全運転です。」

行きの道中、日の出を関門海峡で見ようと時間調整したのですが、あいにくの曇空・・・。残念ながら日の出を見ることなく九州入りとなり、時間調整しながらホテルにチェックイン、そして会場である別府国際コンベンションセンターには、雨の中での到着となりました。館内に入るとすでに九州ブロックの方々が準備をされていて、眼鏡が曇るような熱気でした。

前日プログラムは青年による全国建築士フォーラムです。各ブロックの年度目標の報告後、“災害時、私たち建築士にできること”として、熊本地震の現況報告、東日本、阪神淡路、熊本地震を経験した建築士によるパネルディスカッションが行われました。その後、テーブルディスカッションが行われましたが、ここで急遽「書記」に任じられました。いきなりのご指名なのが全国大会(笑)。そして、全国の青年による交流会、近畿出向メンバーをはじめとするキンキナイトと休む間もなく懇親会が続きます。

2 日目は、朝から受付を済ませ青年プログラムの一つである地域実践活動報告に出席しました。各ブロックからの活動報告を聞き、テーブルディスカッションを行いました。結果、近畿ブロックが表彰を受けましたので予選で敗れた加古川の活動も全国に引けを取らないものだと思います。

午後からは情報部会や歴史まちづくり部会、大会式典に参加し、夜は青年層の多い「夜の全国大会」なる懇親会に参加しました。大阪士会青年さんを始め、関東甲信越ブロックの方々とも交流を持つことができました。こういった交流も全国大会ならではと思います。

最終日は、青年部会の研修旅行の合流を目指し追いかけます。これまた古い旅館で朝風呂を済ましてから国道フェリーの乗り場である佐賀関に向かいました。結構な強風の中、船は豊後水道へ。これがまた揺れる揺れる(笑)。 それでも定刻通りに四国に上陸できました。

松山で無事、青年メンバーと合流し研修の一つである道後温泉を見学しました。初めて内部に入りましたので色々見るところがあり面白かったです。そこからは各サービスエリアに寄り道しながらの帰路となりました。

次回の全国大会は『京都大会』です。大分と比べて圧倒的な近さですので、是非参加されてみてはと思います。

（阪口 晴彦）

青年部情報 （青年部会）

「全国大会 in 大分」研修旅行

近年、青年部企画の研修旅行は運営委員の日程調整からなかなか大変で、春には支部の皆さんにお知らせするも秋に延期といったようなことでしたが、全国大会にスタッフ参加している阪口君の応援もかねて、一度全国大会を見に行こうと、もともとの四国研修とミックスして企画しました。

全国大会前日深夜、加古川北インターから本州を西へ、「全国大会 in 大分」を目指し、その後は、フェリーで四国の最西端、佐多岬に渡り、道後温泉に入って帰路につくという弾丸旅行 1000 キロの旅でした。

全国大会では、たくさんのプログラムの中から青年委員会が担当している地域実践活動報告と記念講演を見学してきました。全国の青年建築士が精力的に活動している発表を聴き、刺激を受けました。阪口君も頑張っていました！

記念講演では、「どうしたらもっと幸せになれるか、 それを考えるのがデザイン」と題して、講師 河北秀也氏（ iichiko アートディレクター ）、西太一郎氏（「本格焼酎 いいちこ」醸造元、三和酒類（株） 取締役名誉会長）のお二人でした。分野は違えど、クライアントとサプライヤーの一つの理想的な関係を感じました。

宿は、四国の最西端。こんなことでもないとなかなか行けないなということで、（宿がとれなかったということもあるのですが（苦笑））ほんとの岬の先に。これもよかったです。

後は、私の行きたかった伊丹十三記念館と道後温泉。どちらもよい建物でした。可能ならばもう少しゆっくりしたかったけれど、よい機会でした。

支部からの補助もいただきました。ありがとうございました。有意義な全国大会視察研修でした。来年は京都で全国大会です。これも凄そうな大会ですね。テーマは「山とまちと木造建築」。私としてはこれも行かねばなるまい。

（島﨑 淳二）

建築士会全国大会・大分大会への参加を兼ねた研修旅行は、前日の夜 10 時を過ぎてからの出発でした、連日の仕事の疲れと襲い掛かる睡魔に耐える運転は過酷なものでした。

大会では、他地域での士会支部の活動や取組を知ることが出来、それぞれが地域との繋がりを重視し、地域と一緒になって活動し貢献して行こうという思いを感じました。

大分から研修旅行の宿泊地、愛媛県へ渡る際に、船に間に合わないというアクシデントがありましたが、無事に宿へ着き、おいしい海の幸に舌鼓を打ちました。

翌朝は四国最西端の岬の灯台を見学した後、松山市街へ向かい、伊丹十三記念館を見学、故伊丹十三氏の発想力とセンスの高さに驚かされました。道後温泉本館では温泉に浸かって日頃の疲れを癒すと共に、国の重要文化財である建物を間近でじっくり観ることが出来ました。

忙しい日々の中でなんとか時間を作って参加した研修旅行でしたが、多くの事を観聞きでき、非常に価値のあった研修旅行でした。

（東田 洋一）

10 月 21～23 日で今回初めて泊りがけの企画に参加させて頂きました。

九州には朝方に到着し、全国大会には朝から参加することができました。全国大会ではまず、各代表の建築士会の発表を見学させて頂きました。どの支部とも、イベント等を通して地域住民との交流を持ちつつ、積極的に建築士会を盛り上げていこうという気持ちの活動内容と発表でした。中でも一番感心した活動は、名前の無い路地に、地域住民と一緒に名前を考え、看板を付ける活動です。実際に、すでに防災面、郵便等に活用され十分に貢献している点に加え、これからもずっと、形として長く残るものを作ったということにとても感心しました。

その後は、各ブースを回りました。厚紙を切って半立体的な寺や近代建物を鋏と折るだけで作る体験ブースや、図面ソフトの説明を受けたりと思い思いの時間を過ごしました。全国大会終了後は、そのまま四国までフェリーで渡り、旅館でゆっくり休み日曜日には、道後温泉に向かいました。一番高いコースでないと入れない、皇族用の温泉や、夏目漱石が坊ちゃんを作ったとされる部屋に入らせてもらいと、とても貴重な体験が出来ました。

今回の研修旅行を通して、全体的にご飯も美味しくとても楽しめました。また、各支部の活動内容を参考に、より建築士会を盛り上げられたらと思います。　とても楽しかったので、また参加出来ればぜひ参加したいと思います。

（太秦 篤史）

若い夢フェスティバル（加古川市フォルツァ）開催に寄せて

若い夢フェスティバルで例年恒例になりつつある、建築士会青年部による木端で作成する小物つくりですが、今年度は雨天のため屋内開催となりました。

会場の規模・運び込む木材料の量、室内の壁面・床面の養生等初めてのことばかりで課題は山積みだったけれど、士会員やボランティアスタッフとして関わってくれた方々の日頃の仕事に対する精進力の賜物でテキパキと会場の設えが完了しました。なにしろ当日の屋外は横殴りの雨と、士会割り当ての開催場所は、会場最奥の入り組んだ場所と悪条件が重なっていたので、山のように積み上げた木端を、虚しく最後に同じ量を引き上げなければならないかもと一抹の不安がありました。しかし、時間を追うごとに会場いっぱいに参加者で溢れかえり、あちらこちらでお母さんがデザインを指示、子どもが材料を探し出し、お父さんが金槌やのこぎりを相手に奮闘といった風に、家族一丸となって着々と大物小物が仕上がっていく風景と笑顔が見受けられ、見守る私たちまでも嬉しく感じました。毎年楽しみに参加してくださる方々もお見かけし、最期には、持参した木端も時間も足らずの大盛況で無事に終了することができました。

ほんの小さな小物作成ですが、木に触れ合うこと・物を作り上げる楽しさ等、それぞれの体験もお土産として持ち帰っていただき、建築士に対する憧れや建築に関わる楽しさを感じ取っていただけたとしたら、大いに意義のある催しになったと思います。

（岩谷 弘子）

ええはなしやん　第 49 回

去年の 4 月ごろ、本部の松尾専務理事から、今年の大分県での全国大会において、兵庫県から伝統技能者表彰を推薦したいのだけれど、だれか腕のいい職人さんを知らないか、という問い合わせがありました。それ以来、私は現場で働いてもらっている下請けの職人について色々と考えを巡らせていました。そしてついに、推薦するのにふさわしい職人がいたことを思い出したのです。それは、木製建具や、造り付け家具を製作、取り付けを業とするハウス木工(株)の従業員で家具職人の、朝日 政秋氏でした。

最近、造り付け家具に関して、いかにも造るのが難しいな、と思われる設計がよくあります。また注文主もそんな傾向にあります。施工に携わっている人ならそんな経験はちょくちょくあるのではないでしょうか。そんな時に、私は決まって、ある職人の顔が浮かんできます。それが、朝日 政秋氏だったのです。彼はこちらの話をじっくり聞いてくれます。そしてそれから何点かの質問をしてきて、それに答え、また協議をして、了解したうえで制作に取り掛かってくれます。そして設計者や、施主に対して充分に納得したものに仕上げてくれます。頼む側として、大きな安心感があります。そんな朝日氏を推薦したところ、オーケーとなり全国大会にて連合会長表彰を受ける運びとなりました。まことにめでたいことでした。

理事会での会議の際に、理事の皆さんに、連合会からは旅費が出ない旨を伝えたところ、加古川支部から、また理事の方それぞれから個人的に旅費を捻出していただきました。そのことを、朝日氏にも伝えましたところ、建築士会加古川支部の皆様に大変感謝いたします、とお伝えください、ということでした。

以上、報告いたします。

（宮宅 勇二）

この連絡・参加申込書はFAXかE-メールで送付してください。(郵便も可)

参加申込書

記入欄が不足する場合は、複写してご使用下さい。

事業名	参加者 氏名（連絡先電話）		非会員 表記欄
「新年会」	氏名	電話	
「研修会」			

連絡票

住　　所 連　絡　先 E－ mail	※ 住所・連絡先等の変更は必ずお知らせ下さい。
事 務 局 へ の 連　絡　事　項	

＊ 個人情報保護法に基づき、各会員の資料として管理致します。

(公社)兵庫県建築士会加古川支部事務局
〒676-0002 高砂市末広町4番1号
株式会社貝塚工務店内
TEL 079-443-1230 FAX 079-443-7474

矢幡支部長連絡先
090-3656-9708

kaizuka-yahata@shore.ocn.ne.jp